

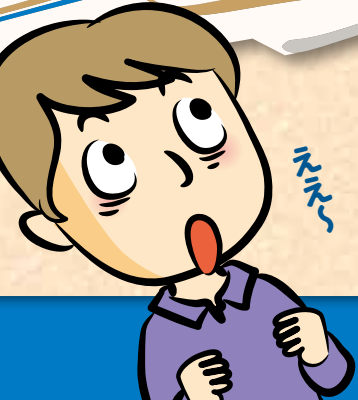
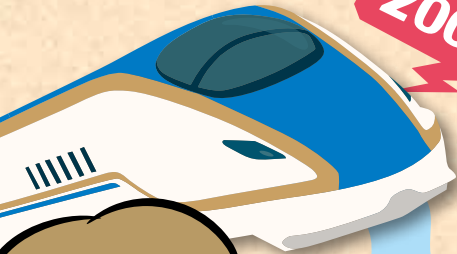
北陸新幹線
延伸より

まず

防災・くらし

大阪北部地震や台風により甚大な被害が発生。党府議団は、河川整備計画の前倒し、土木事務所や振興局の再配置と職員体制の強化を求めています。北陸新幹線より災害対策を優先にすべきです。

敦賀～新大阪まで
2兆1000億円
京都府負担は
2000億円とも



府の河川整備率
計画完成でも
半分以下

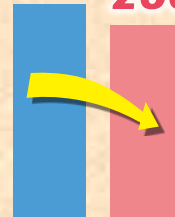
現在 **36%** 全国ワースト6位
30年後 **47%** 整備計画完成後

由良川流入84河川で
整備計画は10河川のみ

京都の浸水被害額
全国3位
841億
8600万円
(平成24年～28年)

土木事務所
技術職員
大幅減員

平成15年 **332人**
平成30年 **299人**



地震の屋根被害や 台風の農業パイプハウス被害へ

助成を実現

党議員団は、府の住宅耐震改修助成制度を活用して屋根等の改修を提案。また、倒壊・破損した農業用パイプハウス等への支援制度拡充を実現しました。2019年度も継続して住宅耐震化を実施する予算が計上されています。

▼風倒木の被害も深刻



八幡市で地震被害を調査する日本共産党府会議員団▼

